

日本学術会議第 1 7 4 回総会資料

(第 2 3 期 第 7 回)

平成29年 7月28日(金)

日 本 学 術 会 議

一般的注意事項

1 出席のサインについて

総会に出席される方は、受付で出席のサインをお願いします。

2 旅費の支給について

旅費請求書を配付いたしますので、押印してください。

3 発言する場合

発言を要求する際には挙手をし、議長から指名された後に、最寄りのマイクを通して所属部、氏名を言ってから発言してください。

4 委員会開催の周知について

総会期間中の各種委員会の開催時間・会場等については、1階の電光掲示板にてお知らせいたします。

5 その他

配付資料については、総会散会后回収させていただく資料2-別紙を除き、必要な資料はお持ち帰りいただき、不要な資料は席上にお残してください。

第174回総会日程
— 第23期第7回臨時総会 —

第1 日程表

	10:00	12:00	13:00	14:30
7 月 28 日 (金)	各種委員会等	昼休み	総会 ○提案事項説明・採決 ・24-25期会員候補者名簿 【非公開】 ○その他	幹事会

※今回総会中の各部会開催はありません。
(総会中の日程は、審議の状況により変更される場合があります。)

第2 会場

総会……講 堂

その他委員会等……当日掲示板等で通知

報	1
総 会	174

日 本 学 術 会 議 活 動 状 況 報 告

平成 2 9 年 7 月 2 8 日

前回（第 1 7 3 回）総会以降の活動状況報告

第 1 会 長 等 出 席 行 事

月 日	行 事 等	対 応 者
4 月 6 日（木）	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
4 月 15 日（土） ～4 月 16 日（日）	日本学術会議主催公開シンポジウム 熊本地震・一周年報告会（熊本・熊本県庁）	大西会長
4 月 19 日（水） ～4 月 21 日（金）	STS フォーラムワークショップ（インドネシア・バリ）	大西会長
4 月 19 日（水） ～4 月 23 日（月）	ICSU「科学研究における自由と責任に関する委員会」（CFRS）（フランス・パリ）	井野瀬副会長
5 月 2 日（火） ～5 月 3 日（水）	G サイエンス学術会議 2017 及び共同声明手交式（イタリア・ローマ）	花木副会長
5 月 4 日（木） ～5 月 5 日（金）	ICSU 本部事務局並びに ISSC 本部事務局との意見交換（フランス・パリ）	花木副会長
5 月 11 日（木）	G サイエンス学術会議共同声明の総理手交（官邸）	大西会長 花木副会長
5 月 12 日（金） ～15 日（月）	大規模災害及び経済リスクの統合ガバナンスにおける国際シンポジウム（中国・深せん）	大西会長
5 月 15 日（月）	公開ワークショップ「Future Earth と学校教育：Co-design/Co-production をどう実践するか（Ⅱ）」（大会議室）	花木副会長
5 月 18 日（木）	学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来」（講堂）	大西会長

5月19日(金)	文部科学省高等教育局長への説明(提言「学術の総合的發展をめざして—人文・社会科学からの提言—」について)(文部科学省)	井野瀬副会長
5月23日(火)	第30回環境工学連合講演会「気候変動における環境工学の貢献～緩和と適応～」(講堂)	花木副会長
5月25日(木)	Gender Summit 10(一橋講堂)	大西会長
5月25日(木) ～5月26日(金)	Gender Summit 10(一橋講堂)	井野瀬副会長
6月1日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
6月8日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
6月8日(木)	公開シンポジウム「原子力総合シンポジウム2017」(講堂)	大西会長
6月13日(火)～ 6月17日(土)	第17回アジア学術会議(フィリピン・マニラ)	花木副会長
6月15日(木)～ 6月17日(土)	第17回アジア学術会議(フィリピン・マニラ)	大西会長
6月22日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
6月25日(日) ～6月28日(水)	第3回世界科学フォーラム(WSF)運営委員会 (フランス・パリ)	花木副会長
6月29日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
7月6日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
7月7日(金)	中部地区会議学術講演会「学術は社会の期待にどう応えるか」(信州大学 松本キャンパス)	大西会長
7月13日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長

第2 会長談話

次の会長談話を公表した。

- 1 「日本学術会議第23期2年目(平成27年10月～平成28年9月)の活動に関する評価」における指摘事項に対する考え方について

(平成29年 6月13日公表)

第3 提言等の承認

○提言

- 1 心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会・
土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会
提言「我が国の子どもの成育環境の改善にむけて—成育コミュニティの課題と提言—」
(平成29年 5月23日公表)
- 2 第一部人文・社会科学の役割とその振興に関する分科会
提言「学術の総合的發展をめざして—人文・社会科学からの提言—」
(平成29年 6月 1日公表)
- 3 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討
分科会
提言「自動運転のあるべき将来に向けて — 学術界から見た現状理解 —」
(平成29年 6月27日公表)
- 4 学術振興の観点から国立大学の教育研究と国による支援のあり方を考える検討委員会
提言「学術振興の観点から国立大学の教育研究と国による支援のあり方について」
(平成29年 6月27日公表)
- 5 社会学委員会社会変動と若者問題分科会
提言「若者支援政策の拡充に向けて」
(平成29年 7月 4日公表)
- 6 健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会
提言「子どもの動きの健全な育成をめざして～基本的動作が危ない～」
(平成29年 7月11日公表)
- 7 地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会
提言「我が国の地球衛星観測のあり方について」
(平成29年 7月14日公表)
- 8 史学委員会博物館・美術館等の組織運営に関する分科会
提言「21世紀の博物館・美術館のあるべき姿—博物館法の改正へ向けて」
(平成29年 7月20日公表)

○報告

- 1 経営学委員会経営学大学院教育のあり方検討分科会

報告「わが国の経営学大学院教育のあり方について～高度専門職業人教育を中心にして～」

(平成29年 5月 9日公表)

2 食料科学委員会畜産学分科会

報告「畜産学の特性に配慮した教育・研究課題－飼育動物の安定的利活用を目指して－」

(平成29年 6月21日公表)

3 農学委員会農学分科会

報告「生産農学における学部教育のあり方について」

(平成29年 6月28日公表)

4 農学委員会農業生産環境工学分科会

報告「持続可能な都市農業の実現に向けて」

(平成29年 7月19日公表)

5 統合生物学委員会生態科学分科会

報告「生態学の展望」

(平成29年 7月27日公表)

6 総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会

報告「パリ協定を踏まえたわが国のエネルギー・温暖化の対策・政策の方向性について」

(平成29年 7月27日公表)

第4 日本学術会議主催学術フォーラム

1 学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来」を平成29年5月18日(木)に日本学術会議にて開催した。

2 学術フォーラム「アジアの経済発展と立地・環境 都市・農村関係の再構築を考える」を平成29年7月8日(土)に日本学術会議にて開催した。

第5 国際会議の開催

1 「第17回アジア学術会議」を平成29年6月14日(水)～6月16日(金)にフィリピンにて開催した。

第6 日本学術会議地区会議

- 1 日本学術会議中部地区会議学術講演会「学術の最前線と私たちの社会」を平成29年7月7日（金）に長野県で開催した。

第7 会員の辞職及び任命

1 会員の辞職

平野 俊夫会員が、平成29年4月16日付で定年退職した。

有信 睦弘会員が、平成29年4月20日付で定年退職した。

清水 孝雄会員が、平成29年4月25日付で定年退職した。

高埜 利彦会員が、平成29年6月29日付で定年退職した。

岸本 健雄会員が、平成29年7月2日付で定年退職した。

本間 さと会員が、平成29年7月8日付で定年退職した。

2 会員の任命

井伊 雅子連携会員が、平成29年5月15日付で会員に任命された。

第8 慶弔等

1 慶事

平成29年春の褒章受章者 平成29年4月29日公表

【紫綬褒章】

飯野 正光（現連携会員（第23-24期）、元連携会員（第21-22期））

山本 一彦（現連携会員（第23-24期）、元連携会員（第21-22期））

河村 能人（現連携会員（第23-24期））

平成29年春の叙勲受章者 平成29年4月29日公表

【瑞宝大綬章】

梶山 千里（元連携会員（第20-21期））

【瑞宝重光章】

喜田 宏（元連携会員（第20期-21期））

笹月 健彦（元会員（第20期）、元連携会員（第21-22期））

鈴村 興太郎（現連携会員（第22期-23期）、元会員（第20期-21期））

【瑞宝中綬章】

入江 正浩（現連携会員（第 22 期-23 期）、元連携会員（第 20-21 期））

武田 和義（元会員（第 20 期）、元連携会員（第 22-23 期））

土岐 憲三（元特任連携会員（第 20 期））

古田 勝久（元連携会員（第 20-21 期））

真木 太一（現連携会員（第 22-23 期）、元会員（第 20 期-21 期））

増原 宏（元連携会員（第 20-21 期））

宮田 清蔵（元連携会員（第 20-21 期））

矢川 元基（現連携会員（第 22-23 期）、元会員（第 20 期-21 期））

第 9 その他

事務局人事異動

事務局長

旧：駒形 健一

新：山本 茂樹

(平成 29 年 7 月 11 日付)

審議第二担当参事官

旧：石井 康彦

新：糸川 泰一

(平成 29 年 7 月 10 日付)

(平成 29 年 7 月 11 日付)

報	2
総 会	174

第23期及び 2017年4月～2017年7月の 活動報告

第174回総会(臨時) 2017年7月28日(金)

日本学会議会議長

大西隆

第23期を通じて実現するべきこと

- 責任ある助言者としての日本学会議
- 学術活動の発展方向、新たな必要領域を積極的に示す日本学会議
- 信頼される国際的なパートナーとしての日本学会議

■ 責任ある助言者としての日本学術会議

- 社会のための学術の領域での活動
- 科学技術の成果の応用とELSIへの強い関心
- 科学技術基本計画、国立大学のあり方、研究資金のあり方
- 防災減災、原子力発電等における見解表明
- 防災学術連携体を通じた学協会との連携

■ 学術活動の発展方向、新たな必要領域を積極的に示す日本学術会議

- 大型研究計画の科学技術研究の方向を示す
- 大学教育の質保証のための参照基準で大学教育の質担保。およそ30分野で公表。
- 科学者の行動規範、学術と安全保障等、学術と社会との関係でも種々の声明を発表

■信頼される国際的なパートナーとしての日本学術会議

- Gサイエンス学術会議(今期はドイツ、日本、イタリアで開催)
- フューチャーアース(国際事務局、アジア太平洋地域のまとめ役)
- AASSAワークショップ(SCAとともにアジアでの連携)
- アジア学術会議(事務局機能を担う)
- WSF(セッションを担当し、活動を支える)
- 仙台 国連防災世界会議、防災減災東京会議(防災減災領域で中心的な活動)

次半年の活動方針(として提案)

(2017年10月～2018年3月)

1. 重要課題への取り組み
大学改革・研究資金、安全保障と学術、原子力発電の将来、放射性核種の安全管理問題、防災・減災
2. 委員会・分科会の審議のまとめ
各委員会、分科会等において、鋭意審議のまとめに入る。
3. 国際活動の推進 FE、ICSU/ISSC、AASSA、Gサイエンス
4. 会員選考 新・分野横断領域、女性会員・連携会員、地区活動、若手アカデミー。
5. 計画的な財務運営

会員・連携会員選考

会員

- 女性会員比率の目標達成(30%)
- 地域バランスの改善(各地区の活動活発化)
- 環境学・地域研究等の学際的な領域の充実
- 産業界でのキャリアを有する会員の拡充

連携会員

- 若手アカデミーを規模拡大(60人規模)。

日本学術会議の移転問題

- 1988年閣議決定。日本学術会議の東京都区部からの移転。翌年、横浜市に移転先決定。
- その後数次の延期。現在は2018年度に移転。
- 現有地の売却によって移転資金調達が原則。
- 短期間に移転計画を立て、進める必要がある。
- 言うまでもなく、日本学術会議の活動が後退することなくさらに発展する契機となることが移転の位置づけ。

Gサイエンス（イタリアで開催）

- 文化遺産：自然災害への防災の構築
- 高齢化社会における神経変性疾患の課題
- 新たな経済成長：科学、技術、イノベーション、及びインフラの役割

これら3テーマの共同声明をまとめ、総理に手交。

ICSUとISSCの合併促進

- ICSU（国際科学会議）、ISSC（国際社会科学評議会）の合併手続きが進行。
- 新組織設立総会の開催地が、本年10月台北のICSU/ISSC合同総会で決定。
- 候補地は「福岡」と「パリ」とすることが両組織会長から伝達。
- 福岡では2018年9月にWSSF（世界社会科学フォーラム）を開催する予定になっている。福岡案は、これと新組織設立総会を連続的に開催しようとするもの。